

The Tale of Genji Illustrated Scrolls

徳川美術館・蓬左文庫開館 **80**周年記念特別展

全点一挙公開

国宝 源氏物語絵巻

11月14日(土)→12月6日(日)

休館日：月曜日（但し23日（月・祝）は開館、翌24日（火）は休館）

主 催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・日本経済新聞社・NHK名古屋放送局

協 力：名古屋市交通局・竹田印刷株式会社

蓬左文庫 同時開催 源氏物語の世界－平安の恋物語－ 11月14日(土)→12月13日(日)

徳川美術館

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL (052) 935 - 6262

THE TOKUGAWA ART MUSEUM

The Tale of Genji Illustrated Scrolls

紫式部によって著された『源氏物語』の絵画化は、その成立からほどなくして試みられていましたと考えられていますが、それらは全て失われ、十二世紀前半に当時の宮廷を中心で製作・享受された国宝「源氏物語絵巻」が現存最古の遺品です。原作の雰囲気をよく伝えているにとどまらず、爛熟した王朝時代の伝統をふまえた、研ぎ澄ました感性による絵画表現、美麗に装飾された料紙にしたためられた、詞書の優美な書など、今も見る者を魅了してくれます。

徳川美術館開館八十周年を記念するこの展覧会では、十年ぶりに国宝「源氏物語絵巻」全場面を一堂に公開します。特に、徳川美術館所蔵の絵十五場面は保存修理がおこなわれ、修理後はじめての展示となります。あわせて「よみがえる源氏物語絵巻」として知られる平成復元模写を含め、江戸時代から現代にいたる「源氏物語絵巻」の模写の系譜をたどります。平成復元模写は、できる限り原本と同一素材・同一技法で製作するという基本理念のもとに模写が推進され、平成十一年から六年の歳月をかけて完成しました。

秋の一日、王朝の美の世界へといざなつてくれる「源氏物語絵巻」をご鑑賞ください。

【御法】
秋、八月十三日の夕暮れ、痩せ衰えた紫上は源氏や明石中宮と、萩の上に宿った露にそれを通して登場人物の心情までもを描き出した名場面です。

【橋姫】
宇治通りも三年になる晩秋、八宮の留守に訪れた薰は、有明の月の風情が美しく霧が立ちこめる中、筝の琴と琵琶を合奏する美しい姉妹、大君と中君の姿を垣間見ます。

【宿木二】
句宮と六君との婚姻三日目の宴があつた翌朝、陽の光に映しだされた六君の姿をはじめて見て、句宮はますます魅せられていきます。

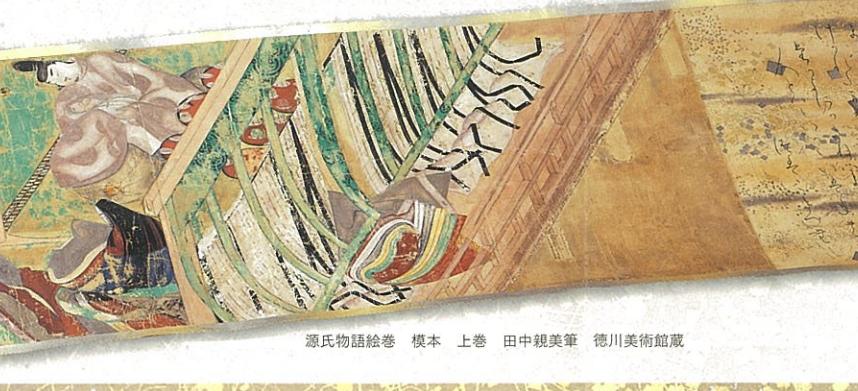
【東屋】
中君は異母妹の浮舟の傷心を慰めようと、優しく語りかけ、絵物語などを出させて、女房の右近に詞書を読ませつつ見せます。当時の物語享受の様子がうかがわれます。

【宿木二】
句宮と六君との婚姻三日目の宴があつた翌朝、陽の光に映しだされた六君の姿をはじめて見て、句宮はますます魅せられていきます。

【東屋】
中君は異母妹の浮舟の傷心を慰めようと、優しく語りかけ、絵物語などを出させて、女房の右近に詞書を読ませつつ見せます。当時の物語享受の様子がうかがわれます。

記念講演会
「源氏物語絵巻の物語本文」
講師・大阪大学大学院文学研究科 教授 加藤洋介氏
11月21日(土) 午後1時30分～3時
徳川美術館講堂 ※入館者聽講自由

【田中親美本現状模写】
古筆研究家であり、復古やまと絵派の正統を継いだ第一人者・田中親美(一八七五～一九七五)によって製作された、尾張徳川家伝来の国宝「源氏物語絵巻」原本に忠実な現状模写です。



源氏物語絵巻 模本 上巻 田中親美筆 德川美術館蔵